

人工股関節置換術(骨移植の併用なし)を受けられる患者さまへ

骨折以外の原因で人工骨頭置換術を受けられる患者さまへ

患者氏名 : 様

患者様用

主治医署名:

受持看護師署名:

月日(日時)	/	/	/	/	/	/	/	/
経過(病日等)	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術翌日	手術後2日	手術後3日	手術後7日~13日	手術後14日
達成目標	患者様・家族様が手術と麻酔の説明を理解し同意する 手術に安全にのぞむことができる 排便のコントロールができる	手術前に絶飲食指示が守られている	麻酔からしっかりと醒めることができる 疼痛がコントロールできている	全身状態が安定している 疼痛がコントロールできている 食事が開始できる 肺塞栓症を発生しない	車椅子に乗ることができる リハビリテーションが開始ができる 肺塞栓症を発生しない	創部からの出血がない 肺塞栓症を発生しない	トイレ、洗面に移動することができる 傷の発赤、腫れ、熱感がない 肺塞栓症を発生しない	疼痛がコントロールできる 抜糸ができる リハビリテーションを継続して行える
治療・薬剤 (点滴・内服) リハビリ	麻酔科の医師の診察があります 薬剤師の服薬指導があります 必要に応じて、寝る前に下剤を飲みます	手術室で点滴を行います		食事の量に応じて点滴を行います 午前、午後に抗生物質の点滴を行います 	午前、午後に抗生物質の点滴を行います 	肺塞栓症予防の内服を1日1度、 7日間程度行います (脳出血等の既往のある方は行いません)		
処置	(必要な場合のみ)洗腸をすることがあります	手術着に着替えます	手術後数時間、酸素マスクを 使います 血栓予防の足のポンプを 着けます ストッキングを着用して いただきます	ガーゼが汚れていれば ガーゼ交換を行います	創部の排液用の管を 抜きます	ガーゼ交換を行います	ガーゼ交換を行います	抜糸を行います
検査	(必要な場合のみ)採血を行います		手術後、手術室でレントゲン 検査を行います	採血を行います。 必要に応じて(自己血)輸血等 を行うことがあります			採血を行います	レントゲン検査を行います 採血を行います
活動 安静度	特に制限はありません 外出する際は申し出て ください	制限はありません	ベッド上安静です 寝返りは看護師が 介助いたします	創部の排液用の管と、 腰部の痛み止め用の管が 抜ければ車椅子へ移動 していただきます			車椅子を使用して いただきます リハビリ室で歩く練習 を行いますので、一人 で歩かないように しましょう	
食事	(夕方以降に)看護師より 絶食について説明が あります	飲んだり食べたり できません 		朝食から食事 開始します 				
清潔	入浴をして いただきます	手術直前に 下肢の消毒を 行います		体を拭きます(週に 2度) 術後一週間後 創部の状態 確認してから シャワーが できます				
排泄	制限は ありません 排便の 確認を します	制限は ありません	ベッド上 での排泄 となります 排尿用の 管が入 ります		排尿用の 管が 抜けたら トイレを 使って いただきます 車椅子 を使う ときは 看護師 を呼ん でください			
患者様 及び ご家族 への 説明 生活 指導 リハ ビリ 栄養 指導 服薬 指導	パンフレット を使用して 担当看護 師と医師 から手術 の説明が あります		担当医から 手術の 説明が あります		人工股関節 の手術後 は、「して はいけ ない姿 勢」があ ります。 パンフレ ットを 使用し て看護 師より 説明し ます。 適宜、 主治医 、理学 療法士 から説 明があ ります。 状態に 合わせ てリハ ビリ室 でリハ ビリテ ーショ ンを行 います。		経過が 良いよ うなら 回復期 リハビ リテー ション 病棟へ の転棟 等を考 慮しま す	

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2 入院期間については現時点で予想される期間です。